

【快想デイ】

毎年、3月に入るとときめんに雨の日が増す。「春雨じゃあ」。じんわり暖かい湿気がまず植物の緑を活性化させ、次に虫たち生き物が生まれ動き始める。人間もだ。

この季節増すのが帯状疱疹。今年は特に多い。ある日ピリピリが顔、体の片側に出現。見ても何も無いが痛みが増して服に擦れるとチクチク。嫌だなあ。翌日覗いて見ると赤いプツプツが出現。ビックリして皮フ科へ。

水ぼうそうに子供の頃感染したそのウイルスが体内に留まり、一生のうちに何度か顔を出す、痛みを伴う皮フ病だ。痛みのピークは発症約2週間後。見た目は1ヵ月後には相当良くなるが、痛みの個人差はバラバラで強弱様々。一般的に高齢者ほど長引く。

最初1週間はウイルスの特効薬と、鎮痛剤の内服と軟膏。後半は神経痛薬を用い、かなりコントロールが可能だ。問題は腎臓の働きの悪い方には、薬の量の加減が必要な事だ。是非検診結果を御持参願いたい。

さて、最近藤沢周平を読んで思うこと。いざとなれば理不尽な相手を殺せる剣を鍛える事で、各武士は自信を培った。幕末の志士が明治維新後、欧米列強の人々と対峙する際のひるまぬ行動力の源の1つがそれだったと思う。

また狭い長屋で肩を寄せ合い、喜怒哀楽を嫌でも共有し合う事で、一般町人も人間関係に慣れ強くなり、結構個人主義的でストレスを感じないよう育ったのではないか。さらに農民は、忍耐を強いられ鍛えられた。日本人は意外に画一的でなく、多様な民族だったのだ。昔から人の生活の中に競争や集団生活やノルマがあるのはごく普通の事だった。それをあまりに否定した生活をおこなうと、各人が今まで以上にひ弱で不安定になるのではないかと思う。雑多な物や人が身の回りに多いほど健康になれるように思う。



ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内秀俊



Instagram ご覧ください
★フォローおねがいします★
Instagram ご覧ください

発行元：医療法人ハーブ内科皮フ科
株式会社ハーブライフケア

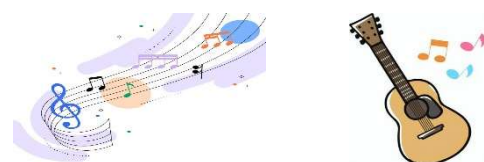
所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753



楽しみながら運動中



一緒に楽しみながら完成させましょう！



ボランティアさん
毎月、楽しみにしている‘山ちゃん’によるギター演奏
楽しすぎて次回が待ち遠しいですね。



<オンライン診療>

ご自宅などからビデオチャットで医師との診療が受けられ、クレジットカードによる決算のため会計に来院は不要。処方箋も指定された薬局へ当院から依頼しますので取りに行くか、配送するか選べます。

対象は症状が安定しており、定期処方を希望する方です。

登録はLINEから又は受付窓口にてご案内いたします。

時間がない方、家族に送迎をお願いして通院されている方は是非ご活用下さい。

